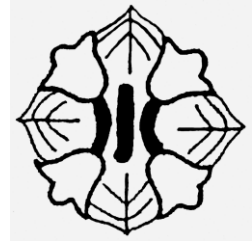


別海町立上風連小学校 学校だより

# 上風連の子



No.12 平成26年2月26日(水) 発行責任者 校長 菊地 祐一

学校ブログのアドレス <http://www.aurens.or.jp/kids/>

## 「感謝と恩返し」

上風連小学校長 菊地 祐一

先週は暴風雪の影響で3日間の臨休となり、20日には各家庭へ登校時の送りをお願いするなど、いろいろとご迷惑をお掛けしました。ご理解ご協力を感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、上風連もいろいろなことがあった2月でしたが、世間は「ソチオリンピック」で盛り上がっていたのではないのでしょうか。日本選手も連日健闘しました。感動する名場面も数多くあり、記憶に残るオリンピックだったと思います。そしてメダルの数は長野オリンピックに次ぐ過去2番目に多い8個。海外で行った冬季オリンピックでは過去最高となり、たくさんのメダリスト達が誕生しました。



今回、そのインタビューでよく耳にした言葉があります。それは「感謝」と「恩返し」という言葉。「周りの人たちへの感謝の気持ちを～」 「支えてくれた方に感謝の～」 「今まで応援してくれた人への恩返しができた～」 e t c . . .



個人種目が多い冬季オリンピックで、メダルを取った直後に自分のことよりも周りの人や自分を支えてくれた人たちへの感謝の言葉が出るのは、本当に凄いことだと思います。メダルが取れたのは、本人の血のにじむような努力と潰されそうな程のプレッシャーに打ち勝ったからです。にもかかわらず、まず最初に出た言葉が、陰で支えてくれた人たちへの感謝の気持ちでした。これはまさに「相手のことを考える」「友達の気持ちを思う」という、今子供たちに身につけて欲しい優しい心に繋がっていくのではないのでしょうか。



6年後、東京でオリンピックが開催されますが、「おもてなし」の心とは、まさに今回の選手達が口にした言葉そのものだと思います。学校でもメダリスト達の心を見習って、相手を思いやる気持ちを子供たちと共に育んでいかなければと感じています。

あと1ヶ月足らずで卒業式、そしてそれぞれ1学年ずつ進級します。学校はラストスパートに入ります。この一年、いろいろなことがありましたが、自分に関わってくれた多くの人たちに対して、感謝の気持ちと恩返しの心を持って中学校や新しい学年に進んでいってほしいものです。

